

## 第2回 笠松町第5次総合計画審議会 議事概要

日 時	平成22年9月10日（金） 14:00～15:50
場 所	笠松町役場 4階大会議室
出席の委員	岩井会長 伊藤委員 岩田委員 加藤(知)委員 加藤(大)委員 久納委員 志智委員 杉山委員 高木委員 勅使川原委員 服部委員 松波委員 山田委員 船橋委員 安田委員 林委員 (以上16名)
欠席の委員	道家副会長 松原委員 名和委員 (以上 3名)

### 議事概要

#### ① 会長あいさつ

今回は「まちづくりの理念」や「目指す将来像」を明らかにし、まちづくりの指針となる「基本構想」についての審議であり、積極的なご意見をお願いしたい。

#### ② 町長あいさつ

これまで、「生活文化都市」を目指してまちづくりを進めてきた。住民意識調査によると世代間で思いの違いはあるものの、その思いは「安全で安心な住みやすいまち」が根幹となっている。それらを踏まえ、ご審議いただきたい。

#### ③ 審議（検討・質疑応答等）

##### [まちづくりの理念について]

- 理念や将来像は長いスパンで考えるべきで、計画の度に大きく変えるものではない。
- これまで経験したことのない社会環境の変化として、人口減少社会を記載すべき。
- 人間関係が薄らいできており、人間関係の良い住みよいまちづくりを目指すべき。  
→ 基本方向以降のところでご議論いただく。
- 「個性」を履き違えると「調和」を崩すことになる。  
→ 個性と調和という言葉だけを捉えると相反するイメージだが、個性を活かすという意味であり、ここで言う個性は、人・自然・文化といったまちの持つ資源を指しており、それを活かしながら調和をし、まちづくりに活かすという意味で提案している。
- 「他の計画」との整合性が大切である。
- 地球環境のことに触れてもよい。
- 調和は良い言葉だが、理解し難い言葉でもある。
- 経験を個性と言うなら、宝や財産と言った方がよい。  
→ 理念の前段には、理念に関する考え方をコメントとして掲載する。  
コメントの中に本日の協議内容及び、「個性」と「調和」についての説明を記載していく。

協議結果	説明文を事務局で再検討することとし、事務局案どおり、「個性」を活かし「調和」を大切にしたまちづくりとする。
------	---

##### [まちづくりの将来像について]

- サブタイトルを入れるか否かでメインタイトルが変わってくる。
- 「生活文化都市」から少し替えてみてもいい。
- 「生活文化都市」よりも「創造文化都市」が流行りである。
- サブタイトルはここで決めなければならない訳ではなく、施策の中で必要となれば入れればよい。
- 「ひと」「まち」「自然」と3つの言葉が並んでいると広ががある。

協議結果	メインタイトルを「清流木曾川に抱かれたひと・まち・自然(が)輝く創造文化都市」とし、サブタイトルについては、これからの施策展開の中で必要となれば入れることとする。
------	---

[将来人口について]

- 人口減少社会の中で、22,500人と強気でみてあるのは良いことである。
- 強気というほどの数字ではない。
- 名古屋の通勤圏であり、自分の家を持ちたい人は多い。
- 今後、全国的に人口が減少する中、各種施策の展開により、横ばいでの推移を考えている。  
県の推計によると、2035年には、県全体で現在より50万人の人口減少が見込まれている。

協議結果	将来人口を 22,500人とする。
------	-------------------

[土地利用構想について]

- 水辺系の概念が入っているのは、いかにも笠松らしい。
- 農業系地域の中に、「保水性」とあるが「遊水機能」とした方がよい。
- 商業・流通系地域の中に堤防道路（木曾川右岸道路）をつなげることなどを入れた方がよい。

協議結果	個々の文書については未確定部分が多く、事務局にて修正する。
------	-------------------------------

[基本方向について]

- 笠松は名古屋にも近く、優れた立地条件であるが、それを活かしてきっていない。
- 大災害などの不測の事態に対する備えが無ければ、本当の安全・安心とは言えない。  
→ 具体的施策については、専門部会において課題集約し、その後審議会で検討いただく。
- 道徳のまちづくりに関する記載が少なすぎる。もっとアピールすべきである。
- 方向2に「家庭教育」のこを入れてみてはどうか。
- 方向1の中で、運動施設の整備や健康の保持増進を図るための体制整備についても触れてほしい。
- 方向3は、環境と経済について記載しているが、同じ分野への分類で良いか。
- 方向5の中で、5-6にある「男女共同参画の推進」は方向1に入れるべきではないか。

協議結果	本日の意見を踏まえ、必要部分を見直し、修正することで、基本計画の策定へとつなげていく。
------	---

